

新潟県納税貯蓄組合総連合会会長賞

税の大切さ

新発田市立 第一中学校 二年 深井 綺星 さん

私のお父さんの仕事は自衛官です。仕事は災害時の捜索や救助など国の平和を守る仕事をしています。そのため、2011年に起きた東日本大震災に災害派遣された時のことを小学生の時に教えてくれ、今でもその一部を覚えています。私が当時まだ1歳にもなっていない時でした。地震の揺れ始め地震速報がなり響いていたそうです。地震が終わったと思ったら電話がなり、父は災害派遣に行くことになりました。そのときに、家族を残して自分が行くことが辛いと思っていたそうです。そして、父は災害派遣に行きました。地震の被害を受け崩壊してしまっている家も多くあったそうです。救援活動や水、食料の配達を命懸けで頑張ったと言っていたのが一番記憶に残っています。私はこの話を聞いたときになぜそこまで頑張れるのだろうと思いました。そして、東日本大震災に関するニュースや記事を見ました。その中でも、津波が追って家から出れなくなってしまった人々をヘリコプターから降り、助ける姿は漫画やおとぎ話に出てくるヒーローの様でした。命懸けでがんばったと聞いていましたが、映像で見るのと話を聞くのでは違いとても衝撃的でした。私は、自衛官や警察官の方々のように人のために命をかけられるようになりたいと思いました。

国や地域の安全な生活を守ってくれている自衛隊や警察官、消防士の方々は税金で働いてくれています。税金で働いてくれているということは、税金が無ければ災害にあった時には誰も助けに来てはくれません。犯罪が起きてしまっても警察の方々は今のようには簡単に来てくれないです。私たちが生活していて当たり前だと思っていたことは税金がなくなった瞬間から当たり前ではなくなります。そう思うと、私たちの生活で税金がどれだけ必要不可欠な存在なのか改めて実感しました。

今中学生の私たちは、産まれた時から税金が身近にあり、税金のある生活が当たり前になってきていると思います。私たちの生活に税金が溶け込んで気づいていないことはたくさんあるのではないのでしょうか。例えば、私たちの小・中学校の教科書、医療費、災害時の救助などあげればきりが無いほどたくさんあります。これらはすべて税金で賄われています。

今私たち中学生にできることは義務教育をしっかり受け、勉強に励む事です。その過程で税の勉強をし、大人になったときに心配せず納税をすることができます。私は税金を大切にし、しっかりと納税できる大人になりたいです。